

平成 29 年度 第 2 回 大阪府立四條畷高等学校 学校協議会 記録

日時	平成 29 年度 11 月 21 日 (火) 15 時 30 分～17 時 00 分
場所	本校大会議室 (東館 2 階)
出席者	委員：田中保和会長 (議長)、串田ゆか、乾昭彦、橋本明子 事務局：千葉校長、森教頭、笠松主席、竹島事務長、波多野指導教諭、新井教諭、三好教諭、植田教諭、竹中教諭、宮崎教諭、末吉 (記録)
次第	1. 校長挨拶 2. 報告 3. 協議 4. その他
議題	本年度の取り組みの進捗確認と改善に向けて
協議要旨	<p>1. 学校経営進捗状況の報告 <千葉校長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四條畷市との中高連携英語授業研究を開始 →中学・高校と連続性のある 4 技能型の英語教育を連携して構築していきたい。 ・アクティブラーニング(AL)をよく実施している教員が昨年度 20%→今年度 28%に増加している。AL は 88%の教員が実施しており、教科特性に応じて各教科蓄積してほしい。 ・GL 部が主体となり、課題研究・探究活動を全校体制で系統的に実施。 ・「飯盛セミナー」の充実が図られる。 ・行事・部活動は頑張っているが教員の負担が大きいというのが悩み。 ・校内発表会 1 年生の課題研究は英語の授業で全員がプレゼン。 英語の小説はエンディングを変えてストーリーを再構成し、英語劇にして発表。 霜月杯では「情報社会の様々な問題」にテーマを広げ、クラス対抗で実施。 課題研究発表会はSSH・文系の課題研究を合同で行った。 ・経営企画会議及び運営委員会で検討した事項の実務を担当するWGを立ち上げた。 ・支援対象生徒には合理的配慮に基づいた個別の教育支援計画を立てて、個別に支援を行っている。 ・来年度の文理学科ではコース制は敷かず目標別・習熟度別講座編成で対応予定。 ・「学校協議会」を廃止し、「学校運営協議会」を設置することとなった。 <p>2. GL 部活動詳細報告 <GL 部長 新井教諭></p> <p>(1) 国際交流事業中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バンダバーグ州立高校と手紙交換 ・AIU 米国国際プログラム (7 月) ・ケンブリッジ大学海外研修 (7 月) ・国際交流キャンプ (9 月) ・ベトナム医療ボランティアツアー (12 月実施予定) ・台湾松山高級中学校 (2 月予定) ・オーストラリア研修 (3 月実施予定) ・ドイツメアブッシュ市ギムナジウム生ホームステイ (3 月予定) <p>※男子生徒の参加率が低いことが課題。</p> <p>(2) 探究活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 年生「身近な課題を見つける」 ニュービジネスコンテストに 2 点入賞。サイエンスデイに 1 チーム入賞 (探究ラボ以外の 1 年生)。 ・2 年生 課題研究 文理学科・普通科合同の中間発表を 9 月実施。生徒がいきいきとしていた。

3. SSHの活動について <SSH研究主担 三好教諭>

- ・探究チャレンジⅠは入学前課題として、新1年生全員が春休み中から取り組み開始。
- ・探究チャレンジⅡは文理学科・普通科同時進行で行い、発表会も合同開催。
- ・探究チャレンジⅢは前年度の研究テーマを継続して深めている生徒が13名いる。
- ・関東サイエンス研修、大阪大学先端研究施設の見学等の校外研修活動
- ・課題研究の活動：全生徒の実践、全教員指導体制の実践
- ・探究ラボの設立：外部発表にて金賞1本、銀賞1本の受賞
- ・高大連携：京都大学ELCASと阪大SEEDSに参加
- ・サイエンス大会：化学グランプリ、数学の各種大会の受賞

[委員からの意見・質問] (→の後は回答)

[委員] 年単位の交換留学生の受け入れの予定はあるか。

→一度依頼があったが、協議している間に流れてしまったことがある。今のところ予定はない。

[委員] 目標別・習熟度別講座編成について

→〔校長〕コース制にするとどのようなコースでも特進コースととらえられかねず、それではオール文理の意味が無くなる。ただ、生徒により目標も異なり習熟度にも差があるので講座編成という形で対応する。ニーズに沿い、浮きこぼれも落ちこぼれも作らないという意識で臨む。

[委員] WGのイメージを知りたい。

→〔教諭〕経営企画会議や運営委員会で新たに考えていくことや具体的な手順を考えていく際に経営企画会議や運営委員会のメンバーが代表で中に入る、議題に応じて専門的な知識を持っていると思われる方に声をかけ参加してもらい、自主的に参加してもらいの三者で構成する。何か方針を決定するというよりは経営企画会議や運営委員会で話し合われた方針に従って手順を考える実行部隊のようなイメージ。

[委員] 授業が進化していると感じた。古典の授業のような丁寧な教え方はずっと大切にしていきたい。英語劇では、みんなの前で恥ずかしがらずに表現できる環境がある子ども達は本当に幸せだと感じた。

国際交流行事への男子の参加が少ないというのは、男の子どもを持つ親として、そういえば家庭のほうからも参加を促したことはないなと思った。SSHには期待しており、社会に貢献できる人間になりたいという自覚を持ってほしい。不登校に関しては見過ごさずに付き合っていきたいと思っており、PTAで出来ることがあれば言ってほしい。

[委員] 課題研究の活動や活動報告の記録を生徒たちは上手くできているか。

→〔教諭〕年度当初に活動の目安数のルーズリーフを配布していたが追加で印刷依頼がきている。飯盛セミナーや校内発表、キャンパスツアーなどの活動の記録をつけるようになった。

	<p>[委員] GLHS評価シートはどのような形で出すのか。 → [校長] 評価審議会の委員の方が評価をしていく際などにこのシートを使用する。 学校経営計画との違いは事前に観点が定められており、それに従って書いていること。</p> <p>[委員] 本年度の取り組み内容及び自己評価に書いていないことでうまくいっていないと思う部分があれば → [校長] アクティブラーニングについては進んでいるが、実践事例集のようなものを全教科でということについては、今年度の完成は難しい。 自学自習時間について、授業は反転授業の要素が増しているので確実に増えていくと思う。発話の力を育成するため発表の機会を設けるとともに、ペーパーテストで答えられる両方の学力をつけていきたい。</p> <p>[委員] 教員の時間外勤務はどれくらいか。 → [校長] 一昨年に比べると昨年は少し減ったが、今年はまだあまり変わっていないのが現状。組織改編など業務軽減につながる取り組みを行っているが、大きく減少させるのは難しい状況。</p>
協議資料	<p>(1) 大阪府立四條畷高等学校 学校協議会 実施要項 (2) 平成30年度使用教科書一覧 (3) 第1回協議会記録 (4) 「平成29年度 学校経営計画及び学校評価」 (5) 「平成29年度 グローバルリーダーズハイスクール (GLHS) 評価シート」 (6) 進捗状況報告資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成29年度 学校経営進捗状況」 ・「畷高課題研究の手引き」 ・「H29年度 NAWATE EXPLORER PROJECT」 ・「不登校生徒への支援の流れ」 ・「組織運営体制について」 ・「平成29年度 四條畷高校 国際交流中間報告」 ・「平成29年度 四條畷高校 GL部 中間報告」 ・「平成29年度 本校のSSHの取り組み状況」